

To the Village Square

lionel delevingne



introduction by Anna Gyorgy

9/30 Impact Hub Kyoto

「村の広場に」の写真家、リオネール・デュルブアーニュ氏を囲む会
スライドプレゼンテーションとお話し

9月30日(金) 午後7時～午後9時

Impact Hub Kyoto

京都市上京区油小路通中立売西入ル甲斐守町 97 番地
西陣産業創造會館 (旧西陣電話局) 2 階 (公衆電話の横からお入り下さい)
TEL: 075-417-0115

アクセス: JR 京都駅: 市バス 京都駅前 (B1, B2 のりば) から
・ 9 系統
・ 快速 9 系統
・ 50 系統

「堀川中立売」下車、徒歩 3 分

詳しいアクセスは、<https://kyoto.impacthub.net/access/>

英語 / 日本語通訳

入場無料 (予約はいりません)

Green Action

京都市左京区田中関田町 22-75-103 E-mail: info@greenaction-japan.org

Tel: 075-701-7223 Fax: 075-702-1952 HP: <http://www.greenaction-japan.org/>

「村の広場に――モンタギューから福島へ: 1975-2014」を出版された写真家、リオネール・デュルブアーニュさん上洛!

9月30日(金) 京都の Impact Hub Kyoto のモンターグ・ブックセラーズ図書スペースにて「囲む会」を開催します。時間は、午後7時から午後9時まで。写真のスライドを見ながらお話しを聞きます。コメンテーターは、グリーン・アクション(京都)のアイリーン・美緒子・スミスです。氏の写真・アート表現、原発の市民運動のことなど、参加者の皆様とスピーカーとの間に活発な会話が生まれることでしょう。是非、ご参加下さい!

著書「村の広場に――モンタギューから福島へ: 1975-2014」は、1974年米国で原発立地になるのを押し返したマサチューセッツ州・モンタギューに始まり、スリーマイル島、チェルノブイリを経て、2014年の福島へと至る安全なエネルギーを目指す運動の姿を生き生きとした写真と文章で述べています。

「村の広場に」とは? 1946年6月にアルバート・アインシュタインは、次の言葉を残しています。「村の広場に、私たちは原子力の事実を伝える必要があります。その広場から、アメリカの声が発せられなければなりません。」